



DESIGNPHIL

NEWS LETTER

2018 VOL.30

Accent on Life

NEWS LETTER

2018 VOL.30

Accent on Life

DESIGNPHIL NEWS LETTER

デザインフィル ニュースレター 第30号

発行日 | 2018年8月30日

企画・編集 | マーケティング部 広報グループ

TEL 03-5789-8058 FAX 03-5789-8470

株式会社デザインフィル

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー9F

www.designphil.co.jp

表紙、P.3~6 Photo:(株)クドウオリジナルフォト

PRESIDENT MESSAGE

ドメイン(事業領域)の 再設定



代表取締役社長
会田一郎



ドメインという言葉、といってもインターネットのホスト名ではなく、マーケティング用語の事業領域のこと、会社の事業の及ぶ範囲・領域を表します。デザインフィルの旧社名ミドリに入社した私が、最初に取り組んだのがこの事業領域の再設定でした。自分たちのビジネスの本質は何か?何を提供して、そして何を買っているのか?その答えがドメインです。このドメインは新しい事業を考える際にも、自らの事業領域を逸脱していないかを見直す物差しであり、この分野で生きて行くという指針となるものです。

初めにDesign for Communication(コミュニケーションのためのデザイン)という事業領域に行き着き、その後Accent on Life(暮らしにアクセントを添えるモノ)とLifestyle by Design(デザインによるライフスタイル提案)の2つを加えて、私たちの全ての事業を表すこととし、今日に至っています。

この度このドメインを25年ぶりに再設定することにしました。といっても事業内容が大きく変わるものではなく、より分かりやすくシンプルに2つのドメインとその重なり合う部分でデザインフィルの全ての事業を表すことにしました。

Lifestyle Inspiration : 日常生活の中でライフスタイルを体現するデザインを表します。例えば一本のネジを手にとって眺めてみると、正確に配置された螺旋状の切り込みがデザインされています。これは機能性をデザインしたものでライフスタイルを体現したものではありません(無機的・機能的なインダストリアル・プロダクトを選びスタイル表現するクリエイターは含みません)。一方、私たちのデザインはライフスタイルの一端を担うもので、ユーザーの感情や自己表現欲求に訴えかけるものです。「ミドリ」製品、「トラベラーズカンパニー」や「プロッター」などのブランド事業、「トラベラーズファクトリー」や「タッチ&フロー」などのサービス部門の事業が含まれる開発ドメインです。

Design for Communication : 感情や意思の伝達を意図してデザインされたもので、コミュニケーションを豊かにするモノとサービス(プロダクトやウェブ・サービス、企業のコミュニケーション)を創るコマーシャル・デザイン事業の開発ドメインです。

この二つは多くが重なり合い、私たちのやっていることの全てはこの中に包含されます。

大きな環境変化のうねりの中で会社は次々と新しい施策を打ち出していかなくてはなりません。その際私たちのクリエイティビティの向かうところが散逸しないように、自分たちはどのフィールドでプレイしているのかを示し、開発の指針となる対象事業の範囲を明確にする、それがこのドメインです。

「人々のコミュニケーションとライフスタイル表現を豊かにするモノとコトをデザインする」、それが私たちの仕事です。



DESIGNPHIL WEEK 2018

Accent on Life

7.4 [WED] - 6 [FRI] at 代官山 T-SITE GARDEN GALLERY

デザインフィル初の 一般顧客向けプライベートショー開催

デザインフィルの活動をより多くの皆さんに知っていただくため、一般のお客さま向けでは初となるプライベートショーを開催しました。「Accent on Life」というテーマのもと、「ミドリ」を中心に、「KNOX」「TRAVELER'S COMPANY」「PLOTTER」「TOUCH & FLOW」の各ブランドおよび法人向けビジネスの一部をご紹介。デザインフィルのプロダクトから生み出される「暮らしの彩り」を皆さんに感じていただきました。

DESIGNPHIL WEEK 2018 解剖図

会場は博物館をイメージ。これまで開発を行ってきた数々のプロダクトを、歴史や進化の様子とともにご紹介しました。



1 ダイヤメモ リング 綴じ実演コーナー

1965年に発売したロングセラー製品『ダイヤメモ』のミニサイズのリング綴じ実演制作を行いました。こちらで制作したイベント限定『ダイヤメモ』ミニサイズは毎日違う色をプレゼント。連日大人気でした。



2 『MDノート』限定柄の 箔押し体験コーナー

『MDノート』の表紙に、イベント限定柄の箔押し体験をしていただきました。表紙の好きな位置にお客さま自身で箔押しをして、愛着の湧く自分だけの一冊が完成しました。

オープニングレセプション

メディアの皆さん向けに、一般公開に先駆けて会場をご覧いただきました。当日は80名以上の方にご来場いただき、「デザインフィルのいま」を体感していました。



3 年表

エポックメイキングのアイテムを中心にまとめたデザインフィル68年の歩みを年表に。「わ～懐かしい」「これもミドリだったのか」など、たくさんのお客さまが足を止めてご覧になっていました。



8 TOUCH & FLOW

「TOUCH & FLOW」がオススメするB6サイズスタイルをご提案。たっぷり書けるのに、大きすぎず、大人が持ち歩くのに適したB6サイズ。11種類のオリジナルノートをご紹介しました。



7 TRAVELER'S COMPANY

「トラベラーズカンパニー」の展開アイテムをご紹介。その後、会場近くの「トラベラーズファクトリー中目黒」に向かうお客様も。



6 法人企業向け

ノベルティ、コミュニケーションツール、OEMまで、企画～生産まで一貫したサポートの過程を、実績品のご紹介とともにご覧いただきました。



4 PLOTTER

さまざまな世界で活躍する「PLOTTER」(人)の考え方や価値観を通して、将来の変革者たちを応援する「PLOTTER MAGAZINE」のプレ号を来場者限定で配布しました。



5 KNOX

KNOXが自信を持ってお届けする日本製プロダクト「オーセン」「ジャパンブルー」「ナチュラルタンザイ」「ビアス」を展示。職人技が光る、こだわりの製品を手にとって確かめていただきました。





MD PAPER
PRODUCTS®



書くを愉しむ、を世界に

2018年に発売10周年を迎えた「MD PAPER PRODUCTS」。日本人ならではの感性で生み出されるプロダクトは、発売から10年を経て、日本国内だけでなく世界中の「書くを愉しむ」人々に広がりつつあります。



MD PAPER PRODUCTSは 海外ではどんな風に売られている?

日本では、文具専門店やバラエティ雑貨店などの文具売場で販売されていて、『MDノート』はノート売場、『MD付せん紙』は付せん紙売場など、品種別に並んでいるのが一般的です。
海外ではどんな風に売られているのかというと、比較的日本と感覚が似ているアジア圏では文具売場中心に販売され、手書きの愉しさが伝わるようサンプルがたくさん並んでいます。
欧米はスタイル重視。MD PAPER PRODUCTSは、オシャレなライフスタイルショップやアパレルショップなどで、「書くこと」も生活を充実させる「コト(経験)」として提案されています。
それぞれの国・地域の文化やライフスタイルの違いによってさまざま。お店のオーナーは、その地の雰囲気や自分たちのこだわりを存分に生かしたお店作りを行っています。

世界の「MD PAPER PRODUCTS」

#アジア編



CZIPLLEE BOOKS & STATIONERY

MALAYSIA



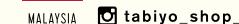
czipllee

文具・書籍専門店。10人のアーティストに10種類の野線のノートを使用してもらい展示を実施。お客さまにも書く愉しさを感じてもらうような工夫が。



TABIYO SHOP

MALAYSIA



tabiyo_shop_

文具のトレンドセッター。ディスプレイ方法やアレンジにオーナーのセンスが感じられます。『MD便箋』で1年後の自分に手紙を書くイベントを実施。



美好文具室

TAIWAN



lovelyrooom

行くだけで楽しい気分してくれる台湾のお店。スタッフ自身が作ったサンプルを見ると、ついいつ買いたくなってしまいます。



LAMUNE SHOP

THAILAND



lamuneshop

ステーショナリ専門店。こじんまりとした店内ながら、画材用品から文房具まで多くの品揃えでお客様を飽きさせることありません。



#ヨーロッパ編



EL MODERNO

@elmodernoconceptstore

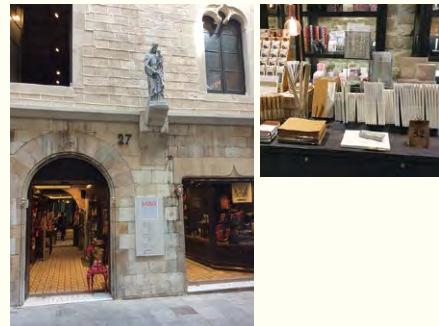
夫婦で経営するマドリッドにあるコンセプトショップ。店長のDavidさんには、息子さんとの交換絵日記に『MDノート』をご愛用いただいている。



RAIMA

@raima_1986

バルセロナのレンガ造りの歴史ある建物を改装してできたステーショナリー専門店。スペインの品揃えで地元の人たちにも慕われるお店です。



PAPER-YA

CANADA

@paperyagranvilleisland

丁寧な説明で心を込めてお客様に商品を届ける、マニトバ州にあるお店。10周年企画で「MD PAPER ロール」を広げ、「MD用紙」の書き心地を楽しんでもらうイベントを実施。



Tiny Feast

CANADA

@tinyfeast

マニトバ州にある文房具だけではなく、陶器、植物なども取り扱うお店。壁一面にグリーティングカードが並んでいる店内はとてもステキです。

海外初開催！10周年記念
オフィシャルイベント

初の海外オフィシャルイベントを台湾の誠品書店敦南店で開催。台湾では水彩画ブームということもあり、『MDノート』を絵を描くために使用されているようでした。

「MD用紙」量り売りや『MDツインノート』が人気。開催前は、本当にお客様に来ていただけるのだろうか、と不安いっぱいの中でスタートしたイベントでしたが、連日たくさんの台湾ユーザーの皆さまが駆けつけてくれました。



Escribo

@escribopol

ポーランドにあるEscribo。木目の温かい店内が特徴です。「ミドリ」、「トラベラーズカンパニー」製品も多く販売していただいている。



McNally Jackson Store Goods For The Study

USA

@goodsforthestudy

ニューヨークにある本屋の系列店がオープンさせたギフトショップ。さまざまなノートがあり、訪問する度に新しいものと出会うことが出来ます。



Martha Mae

USA

@marthamae_andersonville

シカゴにあるギフトショップ。店長がセレクトしたシンプルでスタイリッシュな商品が中心に並べられています。



今後の海外展開

私たち、「MD PAPER PRODUCTS」を通じて、書く/描くことの愉しさを世界中の多くの人々に体験して欲しいと願っています。そのために、今後もよりよい品質の製品を提供するとともに、私たちの思いに共感し一緒に手書きの愉しさを伝えるために、志を共にする各国のパートナー店舗との連携をさらに高めていきます。思わず書ききたくなる魅力的な売り場作り、書く/描くきっかけを提供するコトづくりに取り組んでいきたいと考えています。
(海外事業部)

PROFESSIONAL DIARY

若者向けのビジネス手帳、
なかつたら自ら作ろう。

若い世代向けのオシャレなビジネス手帳

1953年からビジネスダイアリーを手がける「ミドリ」。企業向けのダイアリーとして発売以降、長年に渡りビジネスパーソンをサポートしてきました。35年が経過した1988年。女性の社会進出が増える一方で、ビジネス用のダイアリーは年配男性向けの黒い手帳しかありませんでした。そこで、当社女性社員が「自分たちが欲しくなるような、若い世代が使えるようなオシャレな手帳を作ろう」と開発し、誕生したのが「プロフェッショナルダイアリー（PRD）」です。



KNOX AUTHEN

日本のクラフトマンシップを
注ぎ込んだ渾身のモデル



真の「ジャパンプロダクト」がここに

『AUTHEN』には革と伝統の技をこよなく愛する日本の職人と「KNOX」の想いが詰まっています。縫製職人は、自分が納得いく本物の素材といえばナチュラルなヌメ革しか無かったため、欲しい革は自分の手で作りたいという思いから自らの手で目の前にある革に手を加えオリジナルレザーを仕上げるようになりました。仕立てにもこだわり、一つひとつの工程は手間隙かけた手作業によるもの。日本の職人技が随所に詰め込まれ、手にするたびに「音」までも楽しめる「鳴き革」のシステム手帳となって完成しました。



Point 01

A5スリムサイズ

A4書類が三ツ折で収納でき、片手でバラバラめくれるコンパクトサイズ



Point 02

ページ割

見開き月間スケジュール +メモ・To Doの4ページで1ヶ月分の予定が管理できる



Point 03

グレー×ブルーの
フレンチカラー採用



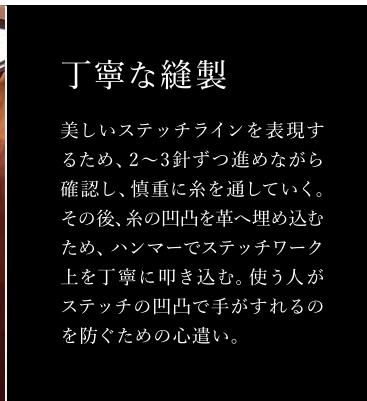
ヨーロッパの洗練された
雰囲気が漂うデザイン

PRDにはさまざまな新しいアイデアを取り入れました。当時目新しかった、片手に収まるA5スリムサイズを採用。ヨーロッパの手帳を参考に、休日の色は赤ではなくブルーを採用。クリーム色の用紙にスタイリッシュなカラーのスケジュールページを組み合わせました。当時は画期的だった月間ブロックの次ページにメモページとTo Doを設けるスタイルは、使いやすいと現在でもたくさんの方にご愛用いただいています。



革へのこだわり

イタリアンショルダーレザーと東京ピッグスキンの特徴を最大限に引き出す仕上げとボリッシュ技術を編み出し、美しい輝きと質感のあるオリジナルレザーに。



丁寧な縫製

美しいステッチラインを表現するため、2~3針ずつ進めながら確認し、慎重に糸を通していく。その後、糸の凹凸を革へ埋め込むため、ハンマーでステッチワーク上を丁寧に叩き込む。使う人がステッチの凹凸で手が触れるのを防ぐための心遣い。



仕立てへのこだわり と工夫 [型抜き]

小さな型は、木槌と抜き型を使って、一点一点丁寧に手で抜いていく。抜き型も手作り。



発売25周年にリニューアル、そして30周年へ

発売25周年の2013年。働き方や時代の変化に合わせて、より機能的に使いやすくなりリニューアルしました。仕事に役立つ機能を追加し、さらに使いやすいダイアリーへと進化しました。発売当時はちょっと異端な存在だった『プロフェッショナルダイアリー』は、30年経った今でも多くの方に愛され続けています。

テクスチャーやマテリアルで遊び心をプラスした限定デザイン

ビジネスシーンでも個性を演出したいというニーズに合わせ、定番シリーズとは別にその年のトレンドカラーやモチーフを取り入れた限定デザインをお届けしています。



金具にも こだわりを

日本で初めて国産ホックを開発した創業100年の老舗メーカーで作った薄さとバネ味にこだわったオリジナルホックに、エイジングを施し、アンティークな雰囲気に。

『AUTHEN』は2人の革職人との出会いから生まれた、素材から仕立てまで全てにこだわり抜いた、究極のジャパンプロダクトです。革を愛する方、エイジングを楽しみたい方にぜひお使いいただきたいシリーズです。

コバを極める

職人オリジナルの豆カンナとやすりで表面を整えた後、磨き剤を塗布し木片を使って磨く。コバの断面にアールをかけながら滑らかなエッジに仕上げていく。磨き剤を程よく浸み込ませるのも職人技。



TOUCH & FLOW 3号店オープン

「TOUCH & FLOW」は、“Cultural General Store～文化的な世界と人々をつなぐよろず屋～”というコンセプトのステーショナリーショップです。書きごたえと携帯性を兼ね備えたB6サイズのオリジナルノートを中心に、上質な暮らしの起点となるようなステーショナリーを紹介。湘南店、銀座店の2店舗およびオンラインショップを展開しています。

このたび、2018年9月25日(火)に開業する日本橋高島屋S.C.店新館5階に3号店となる「日本橋高島屋S.C.店」のオープンが決定しました。

新店では「手書きを楽しむ大人のためのステーショナリー」をコンセプトに、書き心地のよい紙で作られたオリジナルノート、カードなどの紙製品を中心に、デザイン文具や使うほどに愛着が増すような道具、ギフトにふさわしい雑貨を展開します。

TOUCH & FLOW

日本橋高島屋S.C.店新館5階

〒103-6105

東京都中央区日本橋二丁目5番1号

日本橋高島屋S.C.店 新館5階

www.touch-and-flow.jp



編集後記

毎年ひいてるおみくじがあるのですが、そこに1年の行動指針となるような一文字が書かれています。2018年は「笑」でした。要約すると、「いつも笑顔でいることで、成功への道を作る。辛いときほど笑顔で」といった内容。笑うことは、科学的にも心身に多くのプラスの効果をもたらしてくれることが証明されているそうです。(作り笑いでも効果があるとか!)早いもので、今年も残すところ4ヵ月。皆さまが笑顔で1年を締めくくれますように。(編集長M.N.)